

会議議事録

事業名	令和6年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (2)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第2回授業改善サポーター育成講座開発委員会
開催日時	令和6年7月30日(月) 15:00~17:00
場所	オンライン
出席者	事業責任者：岡村 慎一 計1名 委員：小田 政江、合田 美子、足立 隆、猪俣 昇、 半田 純子、吉橋 大樹 計6名 請負業者：飯塚 正成 計1名 <u>合計8名</u>
議題等	議題 ①暫定版授業改善サポーター養成講座に対するアンケート状況の共有 ②授業改善サポーター養成講座 2024 年版（専門学校教員版）の動画教材 の事例選定やコミュニケーションツールについて ③授業改善サポーターの資質・能力の整理 ④講座の告知方法、講座の規模感（募集人員）と会場の環境の確認 ⑤第3・4回委員会の開催日時の確認とその他予定 ①暫定版授業改善サポーター養成講座に対するアンケート状況の共有（小田） ・回答者は15人中10名（瀬崎先生、姫島先生、高木先生、遠藤先生、久永先生（退職済）が未回答） ・麻生グループの先生（浦川先生、星子先生）にはインタビューをしたい →足立がインタビュー可否を打診できる。（足立） ・やりたいけどマンパワーがない学校もあれば、そうでない学校もある。個人の限界を超えて組織レベルでの働きかけをするには、学校として委員会が立ち上がるような状況が望ましい。（吉橋） ・組織レベルの取り組みを水平展開できるような仕掛けづくりが必要。（岡村）

	・ YIC では（2023 年度授業改善サポーター研修の）参加者が 12 月の研修の中心人物となった。（小田） →学校間コミュニケーションが取りづらかった問題の改善が必要。関係構築の密度を上げつつ仕掛けづくりが必要。（岡村） ・ 麻生塾グループが NG だった場合の保険のために、麻生塾以外のメンバーにもインタビュー依頼の声かけをする必要があるのでは？（猪俣） →アンケート回答者にインタビュー依頼の声かけをし、こちらでインタビュー依頼者を選ぶ。（小田） ・ 受講生が他の教員に働きかけている場合もあるかもしれない。自らの他の教員に働きかけた事例を集める必要もある。（吉橋） ②授業改善サポーター養成講座 2024 年版（専門学校教員版）の動画教材の事例選定やコミュニケーションツールについて（小田） ・ 授業改善サポーター養成講座には事前課題があるが、既存の事例をより分かりやすくする取り組みを実施している（吉橋） （吉橋が中心となり専門学校教員の事例を集めている。事例収集後のシナリオ作成はデジハリが実施） ・ 今年度は動画教材と事前課題を開発する予定（合田） →モジュール ABC×観点 7 個の 21 事例 ・ 8 月 20 日までにはシナリオを完成させ、8 月 29 日に動画収録をする（合田） →動画教材 3 時間分の内容に合わせてお天気キャスター型の動画教材にするか掛け合い型の動画教材にするかを決定する →まずは事例を PPT にまとめ上げる必要がある。 →まずは一方的に話す動画教材を開発するが、必要であれば次年度以降に掛け合い型の動画教材も開発し、ブラッシュアップする。 ・ 授業改善サポーター養成講座のコミュニケーションツールは LINE が望ましい。（合田） →コミュニケーションのための仕組みづくりは今後検討をする →LINE のコミュニケーションを活性化するためのマニュアルを作成する必要がある（誰がやるかは要検討） →LINE にてコミュニケーションを取るという前提条件を受講生に伝える必要がある ③授業改善サポーターの資質・能力の整理（小田） ・ 昨年度の授業改善サポーター養成講座は、若手教員を指導したい教員と自分自身の授業を改善したい教員とが混ざっていた。（吉橋） →講座対象者を明確にする必要がある。
--	--

	・講座に参加する教員の上司（管理者）にも合意をとる＆研修成果を評価してもらう仕組みが必要。（岡村） →研修対象者を学校のポジションで設定するのか、経験で設定するのかについては検討する必要がある。 ・授業改善サポーター養成講座で実施する内容を事前周知・強調する（他の教員への授業改善をする宿題がある、他者の授業改善に向けた提案をする等の明記をする）必要がある。（小田） ・（絶対条件ではないものの）周囲の支援が無いと授業改善サポーターとして活躍しづらいので、学校から推薦された方が良い。（吉橋）＝組織的な動きがある方が普及・継続しやすい。 →受講生の上司にも期待する効果が得られたかをヒアリング（アンケート）するほうが良い。 ④講座の告知方法、講座の規模感（募集人員）と会場の環境の確認（小田） ・【第1回】11月5日（火）の13時～16時に実施 in 福岡 ・【第2回】11月26日（火）の15時～18時に実施 in オンライン ・【第3回】12月17日（火）の15時～18時に実施 in オンライン ※10月15日（火）15時～16時にオリエンテーションを実施 →参加対象者は引き続き検討。 ・参加定員は12名 →今年は麻生塾グループに福岡への動員を頼まずに済むような受講生募集をしなくてはならない（福岡以外の開催も検討をする）。 ・上司の推薦が必要である場合、早めに募集＆研修目的をクリアにする必要がある。 ・8月26日に募集開始し、9月30日まで募集をする＋追加募集 →事前学習は10月半ばから開始 ⑤第3・4回委員会の開催日時の確認とその他予定 ・第3回委員会：9月27日（金）10時～12時 in 福岡 ・第4回委員会：11月5日（火）の研修終了後に反省会を兼ねて実施（備考）第5回委員会1月、第6回委員会2月上旬
配布資料	・第2回 授業改善サポーター養成講座開発委員会次第